

ギリシャが7月1日、デフォルト（債務不履行）の状態に陥った。6月末の公務員給与や年金等を支払う金が無くなったのだ。（元凶は、ユーロの通貨統合に参加してしまった事だ。）

ギリシャ政府が資本規制を敷いた為、銀行から1日約8000円しか現金をおろす事ができず、その8000円も出せなくなり、現在はなんと6500円に制限されている。年金は月に1万6000円まで出

金が認められたが、あの老人は、4つの銀行を廻っても銀行に金が無く、年金をおろす事ができない。年金は現役時代の80%支給なので、

投票したくても、投票所まで80km離れており、1日の出金が6500円では、ガソリンも買えず投票しようにもできない。投票所も日本のよ

今日 つれづれ



神戸 睦史
〈ハウゼコ〉

50〜55才で公務員の25%が退職してしまう。なんと、公務員給与と年金が主要歳出の80%を占めているのだ。
地方のある老人は、

うにきめ細かく作れないのだ。出金規制の為、携帯・高速・電車・バスを無料にした。そして莫大なお金が無くなっていく…

事前に大量の現金を引き出した市民の家には強盗が相次ぎ、店舗経営者が材料を仕入れようとすれば現金を要求され、客からの支払い

はカード払いで、店の現金が無くなっていく。失業率が25%で、中産階級より上は外国へ移住する。

この様な状況になっても、明日に控えた国民投票（その中身は十分に説明されていない）直前の世論調査では、賛否は拮抗している。日本人には信じられないことだが…